



患者利用の状況

1. 診療科別一日平均患者数

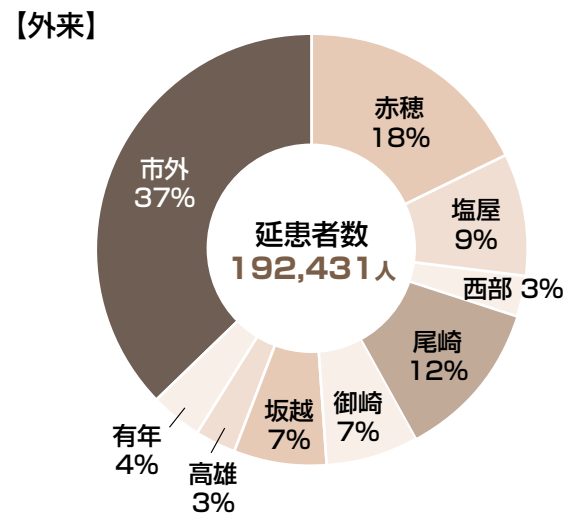
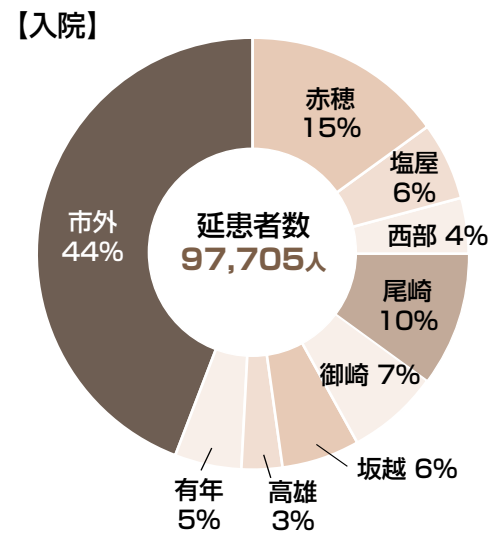
【病院】 (単位：人)

区分	内科	呼吸器科	消化器内科	循環器科	小児科	外科	産婦人科
入院	24.8	0.0	39.4	60.4	4.2	34.4	13.8
外来	127.2	21.1	109.1	90.4	35.6	55.2	34.3
区分	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	整形外科	泌尿器科	放射線科	脳神経外科
入院	0.2	3.1	0.8	49.0	14.6	0.0	19.5
外来	16.4	34.4	36.6	87.8	42.9	14.7	23.4
区分	麻酔科	形成外科	心療内科	精神科	歯科口腔外科	計	
入院	0.4	1.5	0.0	0.0	1.6	267.7	
外来	10.2	14.9	7.5	0.0	27.0	788.7	

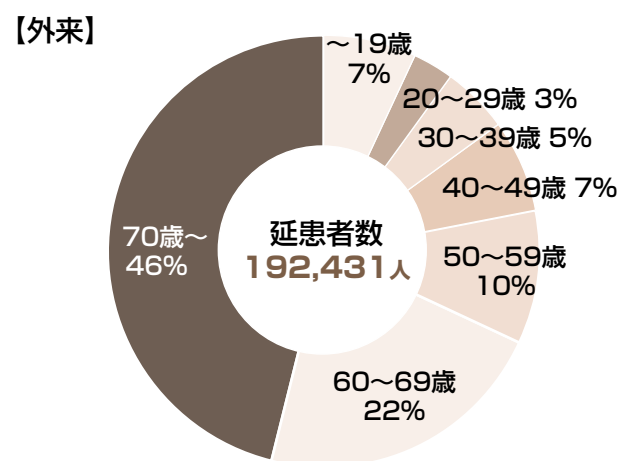
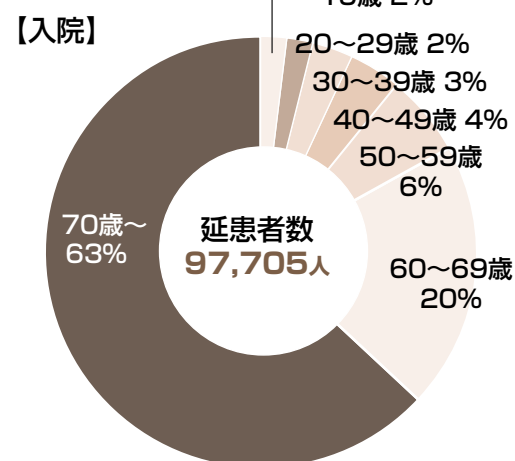
【診療所】 (単位：人)

区分	高雄	福浦	有年	合計
外来	8.8	11.7	13.6	34.1

2. 地区別患者比率



3. 年齢別患者比率



業務の状況

平成26年度の延利用患者数は入院97,705人、外来192,431人でした。

一日平均患者数は入院268人、外来789人で、医師、看護師など総勢412人の職員で医療活動を行いました。

全国的な医師不足の影響を受けて、診療科によっては医師が偏在する状況ではありますが、新棟建設や最新医療機器の導入を行う「第二期基本構想」を早期実現するため、基本設計に取り組むとともに、立体駐車場の建設工事を行いました。

さらに、平成26年12月には西播磨で初めてとなる地域医療支援病院に指定されたところであり、今後診療所など地域の医療機関との連携をより一層推進してまいります。また、救急隊員の知識・技術の向上とより良質な救急医療実現のため、消防本部と連携し「救急ワークステーション」を開設いたしました。

医療機器においては、超音波画像診断装置の整備や放射線治療計画システムの充実を行ったほか、建設工事においては、節電効果を高めるLED照明器具への切り替え工事等を行いました。

経理の状況

経営状況を表す収益的収支については、総収益8,664,783,348円、総費用10,311,684,486円となり、1,646,901,138円の赤字となりました。

資本的収支は、企業債などの収入749,269,681円に対し、医療機器整備などの支出1,215,194,614円となり、その差額465,924,933円については、内部留保資金で補てんいたしました。

今後の病院運営

今後の病院運営については、平成25年3月に策定した「第2次赤穂市民病院改革プラン」に基づき、医師・看護師等医療従事者の確保に継続的に取り組み、早期の診療体制の回復に努めるとともに、患者ニーズに合った診療体制の整備と病院経営の健全性維持に努めてまいります。

また、平成27年3月に国において新たな公立病院改革ガイドラインが策定されたことから、新ガイドラインを踏まえた公立病院改革を進めてまいります。

収益的収支（消費税抜）

